



2026年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション
コード番号 3370 URL <https://www.fujitacorp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 遠藤 大輔
(氏名) 清水 清作

TEL 0144-34-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,218	7.8	29	—	28	—	21	—
2025年3月期第1四半期	1,129	2.9	△3	—	△1	—	△5	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 22百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	6.14	—
2025年3月期第1四半期	△1.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,828	226	8.0
2025年3月期	2,798	238	8.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 226百万円 2025年3月期 238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2026年3月期	—				
2026年3月期 (予想)		0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,518	6.0	38	9.8	27	△11.6	13	2.0	3.79
通期	5,139	5.1	149	30.8	131	16.4	123	28.0	35.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) , 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	3,413,300 株	2025年3月期	3,413,300 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	79 株	2025年3月期	79 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	3,413,221 株	2025年3月期1Q	3,413,221 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D Netで同日開示しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025 年 3 月期	—	—	—	180.00	180.00
2026 年 3 月期	—				
2026 年 3 月期（予想）		—	—	20.00	20.00

（注）2026 年 3 月期の配当予想額につきましては、約定通りであります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、円安傾向、それに伴う物価上昇の継続並びに世界情勢の不安定による影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する飲食・小売、製造・卸売及び農畜産業におきましては、原材料、光熱費及び人件費高騰の影響が非常に大きく、大変厳しい経営環境で推移しております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、中期経営計画に基づいて、高収益が見込める業態について慎重に検討したうえ、新規出店、譲受出店、大規模改装及び新規事業への参入を進めることとしており、当第1四半期連結会計期間において、北海道網走郡津別町の「道の駅あいおい」の運営を受託し、新規に事業を開始いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの飲食・小売部門の稼働店舗数は48店舗、製造・卸売部門1拠点、農畜産部門1拠点であります。当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,218,164千円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益29,702千円（前年同四半期は営業損失3,636千円）、経常利益28,334千円（前年同四半期は経常損失1,109千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益21,423千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失5,227千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

a. 飲食・小売部門

当第1四半期連結累計期間における飲食・小売部門におきましては、フランチャイジー事業はフランチャイズ本部主導の新商品の投入や販売促進活動を、オリジナルブランド事業は季節限定商品の開発及び販売を継続し、スマートフォンのアプリやSNS等及び店頭にて特定商品を訴求することで客単価増やリピート顧客の獲得に努めてまいりました。

飲食・小売部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は1,089,699千円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント利益41,338千円（同270.6%増）となりました。

b. 製造・卸売部門

当第1四半期連結累計期間における製造・卸売部門におきましては、衛生管理に最大限の注意を払いつつ、効率的かつ最大製造数を目標に掲げるとともに、新たな商品の開発及び販売並びに新規取引先開拓による販路拡大の双方で収益の最大化に努めてまいりました。

製造・卸売部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は76,773千円（前年同四半期比5.7%減）、セグメント利益1,923千円（前年同四半期はセグメント利益78千円）となりました。

c. 農畜産部門

当第1四半期連結累計期間における農畜産部門におきましては、搾乳量の増加目標を掲げ、栄養管理、牛舎環境の改善、牧草の自社栽培等によるコスト削減に努めてまいりました。

農畜産部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は51,690千円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント損失9,761千円（前年同四半期はセグメント損失11,142千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は732,468千円となり、前連結会計年度末に比べ27,139千円増加いたしました。これは主に売掛金が23,974千円減少したものの、現金及び預金が26,382千円、商品及び製品が11,327千円増加したこと等によるものであります。固定資産は2,095,549千円となり、前連結会計年度末に比べ1,932千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が17,701千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は2,828,017千円となり、前連結会計年度末に比べ29,071千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は797,950千円となり、前連結会計年度末に比べ12,482千円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が54,502千円、未払法人税等が43,679千円それぞれ減少したものの、短期借入金が95,134千円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,803,670千円となり、前連結会計年度末に比べ28,776千円増加いたしました。これは主に長期借入金が26,865千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,601,621千円となり、前連結会計年度末に比べ41,259千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は226,396千円となり、前連結会計年度末に比べ12,187千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益21,423千円を計上したものの、剰余金の配当24,826千円、A種優先株式の消却10,000千円を行ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は8.0%となり、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間については、前年同四半期と比較して売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益共に順調に推移しておりますが、原材料、光熱費、人件費等の値上がりが継続する場合は、当社グループの業績に多大な影響を及ぼすことが予想されます。それらの安定の見通しなどの未確定な要素があるものの、各種コストの削減、締結済の契約内容の見直し等を継続してまいります。また、飲食・小売部門については、新規事業であります「道の駅あいおい」の運営受託事業を早期に軌道に乗せること、製造・卸売部門については、原材料をはじめとするコストコントロールと効率的な製造及び適切な在庫管理を、農畜産部門については、乳牛の栄養管理強化に伴う生乳出荷量増を継続目標として掲げてまいります。

連結業績予想については、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業利益29,702千円、経常利益28,334千円、親会社株主に帰属する四半期純利益21,423千円を計上している一方で、有利子負債が2,139,858千円と負債純資産の75.7%を占め、手元流動性に比して高水準にあるため、一部の取引金融機関から返済条件の緩和を継続的に受けている状況にあります。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは当該重要事象等を解消すべく、事業面及び資金面において対応策を講じております。

事業面におきましては、店舗において期間限定商品やサービスの訴求、スマートフォンのアプリやSNS等を使用した効率的な販売促進活動による収益確保と販売管理費等のコストの削減を両立し、収益力の強化に努めてまいります。また、飲食・小売事業、製造・卸売事業に共通する原材料・消耗品をはじめとする全社的なコスト削減活動を継続してまいります。さらには、「食」に関連する事業展開につきましても、サステナビリティを意識しつつ、収益拡大に向けた取引先の新規開拓、ネット通販等の対面以外の販路の充実や海外での事業活動開始に向けた調査・トライアル販売にも着手しており、より多くのチャネルでの販売活動を行ってまいります。

資金面におきましては、一部の取引金融機関に対し、長期借入金元本返済条件緩和の継続を要請し、同意を得たうえで返済をしておりますが、今後もすべての取引金融機関との取引正常化に向けて活動を継続し、財務体質の改善を図ってまいります。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと認識しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	365,424	391,807
売掛金	180,057	156,082
商品及び製品	25,028	36,356
仕掛品	12,537	14,524
原材料及び貯蔵品	65,558	75,789
その他	56,723	57,907
流動資産合計	705,329	732,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	809,872	813,778
機械装置及び運搬具（純額）	8,766	7,814
土地	428,228	429,227
建設仮勘定	528	528
その他（純額）	143,841	157,590
有形固定資産合計	1,391,237	1,408,938
無形固定資産		
のれん	45,578	41,780
借地権	140,000	140,000
その他	7,767	7,431
無形固定資産合計	193,346	189,211
投資その他の資産		
投資有価証券	61,897	51,998
敷金及び保証金	401,364	400,249
繰延税金資産	24,864	24,308
その他	50,932	50,866
貸倒引当金	△30,024	△30,024
投資その他の資産合計	509,033	497,399
固定資産合計	2,093,617	2,095,549
資産合計	2,798,946	2,828,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,639	90,288
短期借入金	228,772	323,906
1年内返済予定の長期借入金	156,389	101,887
リース債務	5,611	6,289
未払金	171,448	169,769
未払法人税等	54,410	10,730
その他	81,197	95,078
流動負債合計	785,468	797,950
固定負債		
長期借入金	1,654,429	1,681,295
リース債務	21,413	23,268
資産除去債務	16,134	16,190
その他	82,916	82,916
固定負債合計	1,774,894	1,803,670
負債合計	2,560,362	2,601,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	889,985	70,000
資本剰余金	549,534	158,636
利益剰余金	△1,205,885	△8,404
自己株式	△53	△53
株主資本合計	233,580	220,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,933	6,148
その他の包括利益累計額合計	4,933	6,148
非支配株主持分	70	70
純資産合計	238,583	226,396
負債純資産合計	2,798,946	2,828,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,129,837	1,218,164
売上原価	463,725	492,219
売上総利益	666,112	725,945
販売費及び一般管理費	669,749	696,242
営業利益又は営業損失(△)	△3,636	29,702
営業外収益		
受取利息	42	30
受取配当金	381	297
不動産賃貸料	36,038	36,218
その他	6,437	2,123
営業外収益合計	42,899	38,669
営業外費用		
支払利息	11,343	11,639
不動産賃貸原価	28,832	28,050
その他	196	348
営業外費用合計	40,372	40,038
経常利益又は経常損失(△)	△1,109	28,334
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	156	—
特別利益合計	156	—
特別損失		
固定資産除却損	26	1,662
店舗閉鎖損失	—	1,123
特別損失合計	26	2,785
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△979	25,548
法人税、住民税及び事業税	4,247	4,124
法人税等合計	4,247	4,124
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,227	21,423
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,227	21,423

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△5,227	21,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,208	1,215
その他の包括利益合計	1,208	1,215
四半期包括利益	△4,018	22,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,018	22,638
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	998,408	81,436	49,993	1,129,837	—	1,129,837
外部顧客への売上高	998,408	81,436	49,993	1,129,837	—	1,129,837
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	97	97	△97	—
計	998,408	81,436	50,091	1,129,935	△97	1,129,837
セグメント利益又は損失(△)	11,155	78	△11,142	91	△3,728	△3,636

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主としてのれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,089,699	76,773	51,690	1,218,164	—	1,218,164
外部顧客への売上高	1,089,699	76,773	51,690	1,218,164	—	1,218,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,089,699	76,773	51,690	1,218,164	—	1,218,164
セグメント利益又は損失(△)	41,338	1,923	△9,761	33,500	△3,798	29,702

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月26日開催の第47回定時株主総会決議により、同日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金819,985千円及び資本準備金549,534千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、増加したその他資本剰余金のうち1,176,057千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が70,000千円、資本剰余金が158,636千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	31,684千円	33,079千円
のれんの償却額	3,798	3,798